ぶうげんびりあ7月 No.1

2018年 7月号 №229 http://www2.synapse.ne.jp/ainohamaen

編集・発行　障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL:54－8011 FAX:54－8012

4年に一度のワールドカップ（2018FIFA ワールドカップ ロシア）が今、行われています。サッカー選手にとっては夢舞台。それぞれの国の誇りをかけて戦い、世界一を目指し、ピッチで全力プレーをするその勇敢な姿は、細かいルールが解らなくても私たちを魅了します。TVや雑誌等、ワールドカップの選手の特集の中で、これまで歩んできた道や苦難を乗り越えてきたドラマを観た時…。人生には、それぞれのドラマや物語がある。汗水流し乗り越えて生きてきた人生がある。そう感じると胸が熱くなります。何かに向かって一生懸命に取り組む姿は、人の心を動かしたくさんの感動や勇気をもらいます。このワールドカップを観戦して、みなさんは何を感じましたか？一番大切な事は、そんな事を感じる時間なのかもしれません。（主任：市田）

7月行事予定表

2日（月）：体重測定・血圧測定
5日（木）：海に親しむ（生活介護）
6日（金）：海に親しむ（就労継続支援B型）
13日（金）：避難訓練
21日（土）：納涼大会
25日（水）：健康相談
27日（金）：結核検診

納涼大会のご案内

愛の浜園では夏の恒例行事、納涼大会を下記の通り実施する事になりました。つきましては納涼大会が盛大に行われますよう、より多くの方々のご参加をよろしくお願い申し上げます。

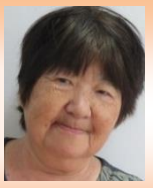
日時：平成30年7月21日（土）
開場　午後6：30　　午後7：00～9：00
場所：夕日が見える公園（知名瀬緑地公園）

知名瀬敬老会 ～地域との繋がり～

6月24日（日）知名瀬（ちなせ）町内会の敬老会にご招待をいただき、利用者さんと共に余興を披露させて頂きました。当日は雨も強く、雷もなり、ドキドキしながら利用者さんと一緒に舞台袖で出番を待っていましたが、突然の停電！薄暗く、シーンとなった会場でしたが、「ジャンベ隊、舞台に出ていいですか？」と荒田支援員のとっさの機転でジャンベ隊が舞台に登場し、屋園支援員の三味線や河村支援員のチヂンに合わせ「上を向いて歩こう～ワイド節」のメドレーを披露しました。1度は静まった会場でしたが、会場一体となって盛り上がり、途中から復旧した電気の灯りも演出のようでした。また、永田　三十六（ながた　みとむ）さんの元気な歌声の「加計呂麻（かけろま）」慕情」も敬老会に華を添え、地域の方々の「今年もありがとうね。」の言葉に利用者さんも職員も嬉しそうでした。また、来年も元気にお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございました。（記事：佐々木）

お誕生日 おめでとう

伊元　サチ子さん


生野　由子さん

森山　義範さん

仁島　紀寿さん

訂正とお詫び

先月号に下記の誤りがあり、訂正とお詫び申し上げます。
6月号２２７号×
6月号２２８号○

一日遠足 就労継続支援B型

6月21日(木)、一日遠足へ出かけました。当日は、今にも雨が降り出しそうな、灰色の雲が広がっていましたが、雨天時の計画も立て、いざ出発！！今回は、坂井　文也（さかい　ふみや）さんが第65回記念県美展に入選した絵画（あじさいの花）を鑑賞するために、笠利町（かさりちょう）の【田中一村記念館】へ行くことになりました。初めてという利用者もいましたが、受付の方にも笑顔で迎えて頂き館内へ。まずは、全員で文也さんの絵のある場所へ直行しました。ライトアップまでされた絵は、とても彩鮮やかで輝いて見えました。絵の前で解説を始めた文也さんは、誇らしげでステキでした。その後、田中一村の絵画も、ゆっくりと鑑賞することができました。昼食は、場所をあやまる岬公園へと移し、木陰のベンチやステージなど、思い思いの場所でお弁当を食べました。風は少しありましたが、幸い雨にも降られず、食後にはグラウンドゴルフも楽しみました。そこで、圓　初代（えん　はつよ）さんが「ホールインワン」を出して、みんなでとても盛り上がりました。これから、夏本番。暑い日が続くと思いますが、そんな中でも毎日作業を頑張っているみなさんの息抜きの時間となれたでしょうか？たくさんの笑顔、笑い声が響く、本当に楽しい一日となりました。（記事：田原）

一日遠足 生活介護

6月21日（木）、大浜海浜公園へ遠足に出かけました。海洋展示館では、展示の見学や亀のエサやり体験、ビデオ観賞などを楽しみました。またハンドクラフト体験もあり、希望した利用者さんはキーホルダーや陶器の絵付けなど、自分だけの記念品を作る事ができ、嬉しそうにしていました。昼食は、高倉の下で海風を感じながらのお弁当でした。お弁当は事前に好きなメニューを聞き、それぞれハンバーグやカレー・親子丼などを、とても美味しそうに食べていました。行事の際のセレクトメニューは初めてでしたが、利用者の皆さんが笑顔で楽しまれている姿をみて、係りとしても嬉しく感じました。鬱々とした梅雨時期の中、利用者さんとゆったりと過ごす事ができた楽しい一日でした。また、おやつは元職員の永田　静江（ながた　しずえ）さんの手作りで、毎年、旧端午の節句にプレゼントしていただいている「あくまき」を利用者、職員一同、永田さんが、お元気過ごされる事をお祈りしながら、とても美味しく頂きました。（記事：山岡）

大島養護学校実習

6月18日（月）～29日（金）まで県立大島養学校在籍の重村　朋哉（しげむら　ともや）さんが当施設での実習を行いました。昨年11月にも当施設で実習を行っており、約7か月ぶりの再会となりました。前回同様、鼻歌を歌いながらの再会！「特別楽しんでいる時は大きな古時計・ダンゴ三兄弟の鼻歌が出ますよ！」（先生談）との事で、支援を行うなかで一度は聞けたらと思いながら接しましたが、今回は残念ながら、自分は鼻歌を聞く事が出来ずに終了してしまいました。遠足やジャンベ等様々な活動に笑顔で参加する姿を見て、今後も色々な経験を積み重ねて欲しいと願い、また、利用者も実習生も色々な経験の出来る愛の浜園で在りたいと思いました。（記事：寺川）

三賞受賞者

（努力賞）
・松島　大志さん・・・虫歯治療ができました。
・田畑　栄さん・・・・・食器の片付けを頑張りました。
・榮　敏郎さん・・・・・毎日、洗濯や翌日の準備ができました。
・叶　絹代さん・・・・・足裏の治療を頑張って受ける事ができました。
・栄　徹さん・・・・・・・着替えの際、前後の間違いがなくなってきました。

・定原　たず子さん・・遠足に参加し、楽しむ事が出来ました。
・幸　裕次郎さん・・・・遠足時、バスの乗り降りが一人できました。

（親切賞）
・稲田　吉浩さん・・・・お友達の着替えを手伝ってあげようと、自ら衣類を持って来てくれました。
・里　喜美子さん・・・・食事の際、お友達への移動の声掛けや誘導を手伝ってくれました。

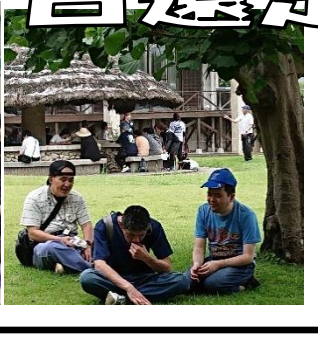
～音楽が繋げる絆・楽しさ～
B・Bモフランさんらプロの音楽家が来園

6月5日火曜日にジャンベ奏者のB・Bモフランさん（コンゴ出身・元劇団四季演奏者）と音楽療法NPOムジカトゥッティの多田羅　康恵（たたら　やすえ）さんが愛の浜園を訪れジャンベやキーボードを演奏してくださいました。愛の浜園からも利用者、職員全員でジャンベ演奏してお迎えしました。実はIターンしてきた友人を訪ねて奄美に来る予定のお二人でしたが、「音楽療法！！」という魔法の言葉にいてもたってもいられなかった私は、無謀にも「できれば愛の浜園に来てください！」と初めてお会いしたお二人にお声がけしてしまったのです。もうドキドキが止まりませんでしたが、園のHPでジャンベクラブがあると知った多田羅さんが、「ぜひ、行ってみたい。」とおっしゃってくださいました。そして、今回は魔法が魔法を呼び、島在住のパーカッション奏者の山北　紀彦（やまきた　のりひこ）さんも参加してくださることになりました。山北さんが20数年前に初めてアフリカンドラムに触れたのが実はB・Bモフランさんだったのです。長い時間を経た再会に何時間も時を忘れて語り合ったそうです。そんな感動が愛の浜園でのライブに反映してか、園全体が大きなウェーブを作り一つになって楽しく、利用者さんや職員が飛び跳ねて踊り、そして心穏やかな時間を過ごしました。じっとしている事が苦手なYさんにも今日の音楽は心に響いたのか、とても落ち着いて聴いていたそうです。その話を伺って本当に良い出会いがあったと感動しました。演者も観衆も障害があるなしにかかわらず、大きな幸せに包まれた貴重な体験をさせていただきました。愛の浜園に来ていただいた、B・Bモフランさん、多田羅　康恵さん、山北　紀彦さん、そしてサポートに来てくれた皆吉　恵理子（みなよしえりこ）さん、繋げてくれた友人の森さん、本当にありがとうございました。後日、なんとNPOムジカトゥッティさんから楽器を寄付してくださるとの連絡がありました。愛の浜園は、これからもジャンベ活動を通して音楽を楽しみ、そして、利用者さんの健康と幸せを創造していくことと思います。どうぞこれからも応援をよろしくお願いいたします。（記事：牧口）

マジシャン登場！

6月12日（火）に、ボランティアのトニーさん（亀山　逞＜かめやま　たくま＞さん）が来園され、「トニーさんによるマジックショー」が開催され、生活介護・就労継続支援B型の利用者全員で鑑賞しました。トニーさんの話術とマジックに、利用者の皆さんは真剣な表情で楽しんでいました。小さなボールやハンカチを使ったマジックが心に残ったようで、たくさんの質問が飛んでいました。私、支援員：榮も前座でマジックのような出し物をしました。しかし、レパートリーも巧みな話術もなかった為、時間より早く終わってしまいましたが、利用者さんからの温かい声援を貰ったので、次にマジックを披露する時までには、腕を上げたいと思う所です。トニーさん、ありがとうございました。是非またいらしてくださいね。（記事：榮）

心に響くフレーズ

「愛の浜エ～ン（園）♪」このフレーズもだいぶ利用者さん達に浸透してきました。ジャンベと言う太鼓での音楽活動で、講師の武田　まゆみ先生と一緒に作ったみんなが一番元気に歌っているフレーズです。今月のジャンベの活動には、講師の武田先生とギタリストの森　辰二郎（もりたつじろう）さん、ベーシストの佐久間　啓市（さくま　けいいち）さんも来られました。武田先生のジャンベに加え、鉄琴やけん盤ハーモニカも演奏して頂きました。「愛の浜エ～ン♪」から始まり、「上を向いて歩こう」や「ワイド節」など、利用者さん達も楽しみながら太鼓や鈴など思い思いに叩き楽しんでいました。ジャンベに取り組む事で、愛の浜園にボランティアで来てくれる方が増え、人の繋がりが広がっていく事は本当に感謝しています。利用者さん達に楽しんでもらいながら、演奏するジャンベを機会があったら披露していきます。皆さんお楽しみに♪（記事：惠）

6月の愛の浜園